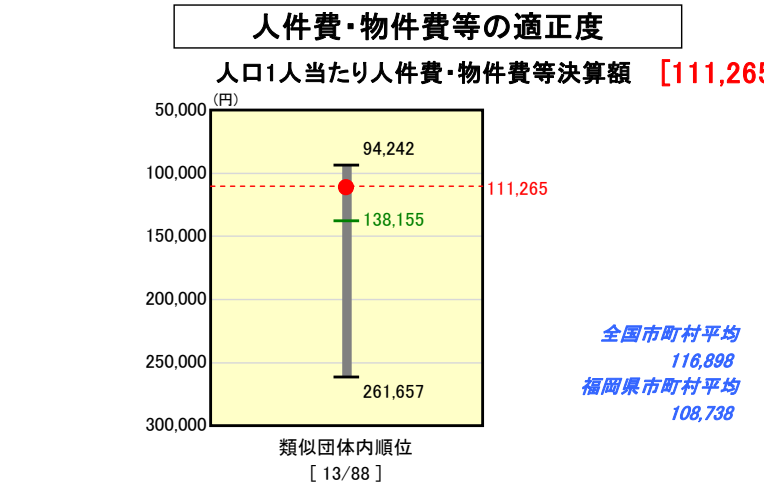
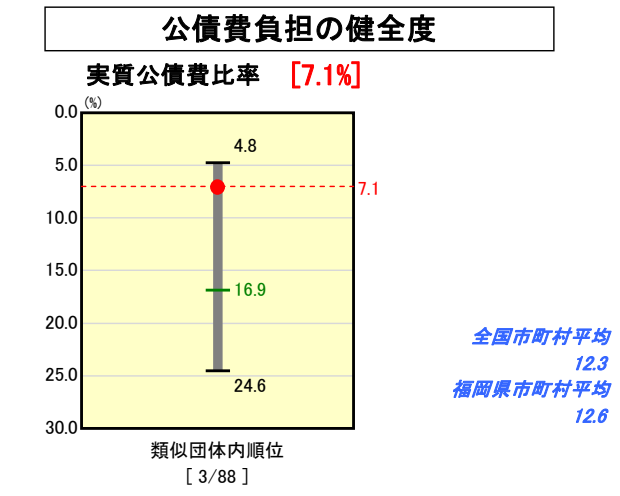
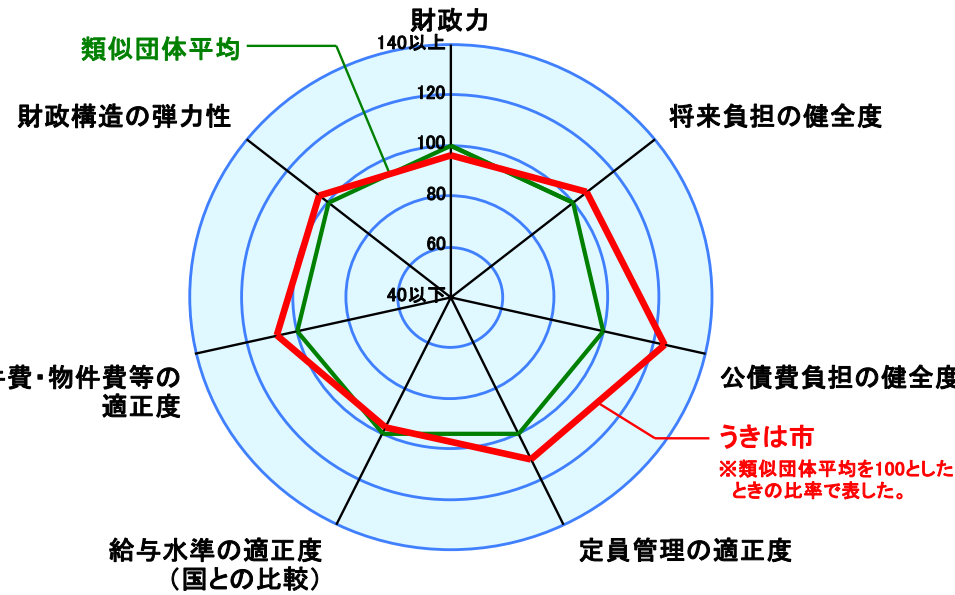
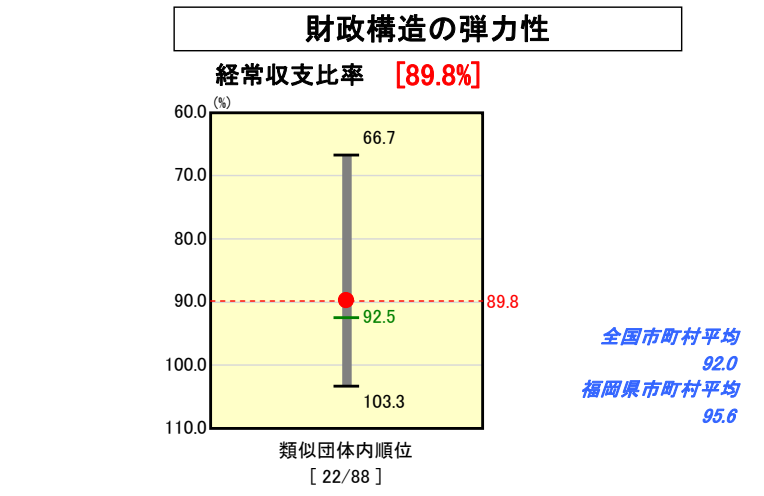
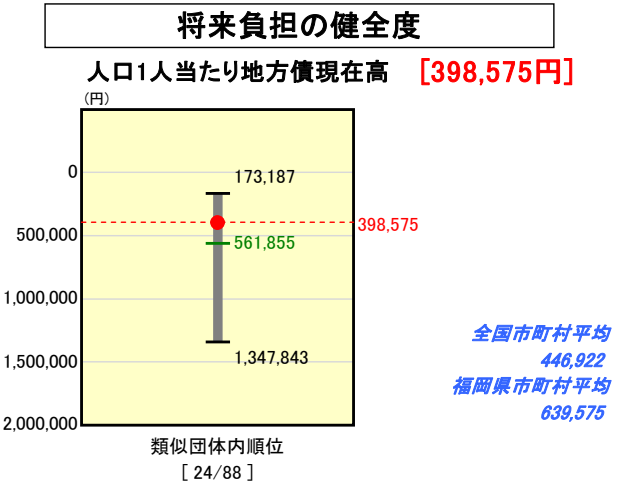
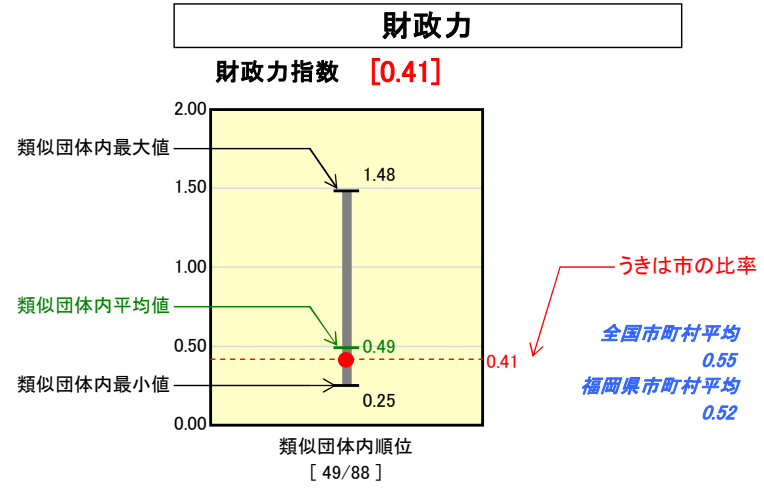


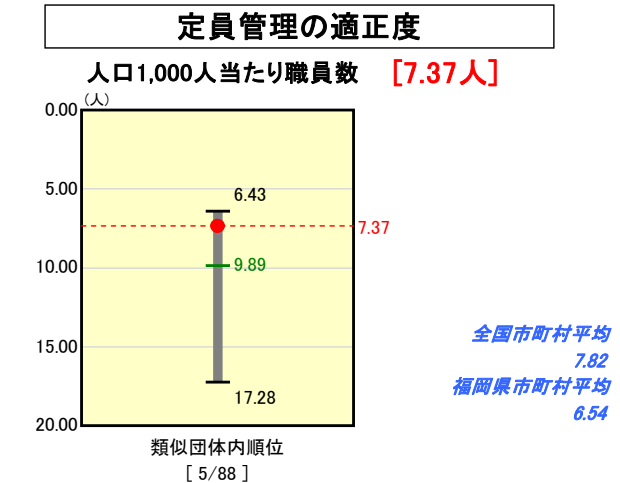
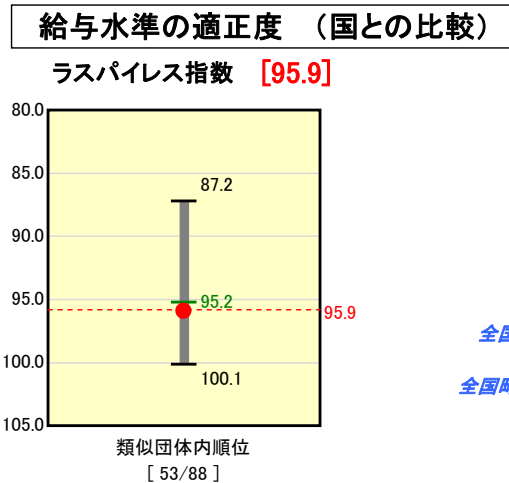
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 うきは市

人口	33,264 人(H20.3.31現在)
面積	117.55 km ²
歳入総額	14,144,141 千円
歳出総額	13,681,425 千円
実質収支	362,074 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
平成17年3月20日合併により、うきは市となり合併による財政基盤の強化に努めているところである。指数としては、昨年度より0.01ポイント上昇し、0.41と僅かに改善したものの、依然として類似団体平均を下回っている。今後とも集中改革プランに沿って歳出削減に努めるとともに、企業誘致の推進・市税の徴収教科等に取り組み、自主財源の確保を行い財政基盤の強化に取り組む。

○経常収支比率
合併による経常経費削減の効果等により、89.8%と類似団体平均をやや下回ってはいるが、前年度より1.9パーセント上昇している。今後、合併特例事業債の償還が増加するためこととなるため、集中改革プランの確実な実行・事務事業の見直し、事業の再構築を進め、経常収支比率が上昇することのないよう努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額は、類似団体平均を下回り、合併等による経費削減の効果を持っており、集中改革プランの推進により今後とも経費削減に努める。

○ラスパイレス指数
95.9%と類似団体市平均を上回っている。今後、現在ある各種手当の総点検等、一層の給与の適正化に努める。

○人口1人当たり地方債現在高
起債事業の適切な実施に配慮し、現在のところ類似団体では低位の水準となっているが、合併特例事業の実施に伴い地方債残高が大きく増加する見込みである。今後、事業の必要性・内容等を十分に検討し、安易な起債発行を行うことのないよう努めていく。

○実質公債費比率
起債事業の適切な実施に配慮し、類似団体の中では低位の7.1%となっているが、今後は、合併特例事業債の償還額・国営事業の負担金等の増加により比率の上昇が見込まれるため、安易な起債発行を行うことのないよう努めていく。

○人口1,000人当たり職員数
定年退職者等の不補充による削減を行い、引き続き定員管理の適正化に努め、集中改革プランに定める「平成22年4月1日までに職員数7.2%」の削減の達成を目指す。